

SUMIKAWA Kiichi:
a Retrospective

抽象彫刻のパイオニア

澄川 喜一

そりとむくり

2020 2.15 Sat.–

5.24 Sun.

 横浜美術館
YOKOHAMA MUSEUM OF ART

《そりあるかたち 2018》2018年
215×85×50cm、作家蔵 | 撮影：江崎義一
©Sumikawa Kiichi



CONCAVE AND CONVEX

SUMIKAWA Kiichi: a Retrospective
Concave and Convex

澄川 喜一

そりとむくり

2020.2.15 Sat.-5.24 sun.

【開館時間】10:00-18:00

【休館日】木曜日

*5月の金曜・土曜は20:00まで

*入館は閉館の30分前まで

Open Hours: 10:00-18:00

Closed: Thursdays

*Open until 20:00 on Fridays and Saturdays in May

*Admission until 30 minutes before closing

【観覧料(税込)】

一般:1,500(1,300/1,400)円

大学・高校生:900(700/800)円

中学生:600(400/500)円 | 小学生以下:無料

*65歳以上の当日料金は1,400円(要証明書、美術館券売所でのみ販売)

* ()内は前売/有料20名以上の団体料金

(要事前予約、美術館券売所でのみ対応)

*毎週土曜日は高校生以下無料(要生徒手帳、学生証)

*障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料

*観覧当日に限り本展の観覧券で「横浜美術館コレクション展」も観覧可

前売券販売期間:11月23日(土・祝)-2020年2月14日(金)

【先行ペア券 2枚1セット2,000円】

販売期間:10月12日(土)-11月22日(金)

チケット取扱い:横浜美術館(前売券はミュージアムショップで

販売)、イープラス、セブンチケット

【板橋区立美術館との相互割引】

本展の観覧券提示で板橋区立美術館の企画展

「物語の庭 深井隆 彫刻展」の入館料が団体割引価格に、
深井隆彫刻展の観覧券提示で本展の当日観覧料が200円引き。

●板橋区立美術館「物語の庭 深井隆 彫刻展」

2020年3月7日(土)-5月10日(日)

主催:横浜美術館 | 日本経済新聞社

神奈川新聞社 | tvk(テレビ神奈川)

協力:みなとみらい線 | 横浜ケーブルビジョン

FMヨコハマ | 首都高速道路株式会社

次回展覧会予告:

ヨコハマトリエンナーレ 2020

2020年7月3日(金)-10月11日(日)

千年を越す法隆寺など歴史に残る木造建築は、
棟梁が山の木を見て、山の南側で育った木は建物の南側に、
北側で育った木は北側に使ったと言われています。

木は生きているのです。

木の声を聞きながら「そりのあるかたち」を

削り出したいと思っています。

澄川 喜一



《TO THE SKY》2012年、御影石、東京スカイツリータウン
Photo: Toshiharu Utsumi



《そりのあるかたち-1》1979年 | 樺、東京都現代美術館蔵
Photo: Osamu Murai



《S君》1959年 | ブロンズ、
作家蔵(島根県立石見美術館寄託)
Photo: Osamu Murai



《MASK》1967年 | 樺、桂、
神奈川県立近代美術館蔵
Photo: Keizo Kioku

戦後の抽象彫刻のパイオニアとして、東京スカイツリー®のデザイン監修など公共の大規模プロジェクトを含む多彩な創作を展開してきた澄川喜一(1931年生まれ)。彫刻家としての活動期間は優に60年を超え、今なお創作意欲はおとろえることを知りません。この展覧会は、澄川喜一の創造の原点、展開と到達点を明らかにする首都圏の公立美術館においては初の大規模な回顧展です。木彫の巨匠・平櫛田中や塑像の第一人者・菊池一雄から彫刻の基本を学び、具象的な造形を出発点としながら、やがて日本の伝統美に深く共鳴する幾何学的な抽象彫刻「そりのあるかたち」シリーズに転じていく、その理知的な展開を、最新作を含む約90点の作品・資料で検証します。

【関連イベント】

*各イベントの詳細はウェブサイトをご覧ください。

●記念対談

澄川喜一×深井隆(彫刻家、東京藝術大学名誉教授)

日時:2月22日(土)14:00-15:30(13:30開場)

会場:横浜美術館レクチャーホール

定員:220名(申込不要、先着順、無料)

●記念懇談

澄川喜一×内藤廣(建築家)×逢坂恵理子(横浜美術館館長)

日時:3月20日(金・祝)14:00-15:30(13:30開場)

会場:横浜美術館レクチャーホール

定員:220名(申込不要、先着順、無料)

●澄川喜一によるギャラリートーク

日時:5月2日(土)14:00-15:00

会場:企画展展示室(申込不要、当日有効の観覧券が必要)

●学芸員によるギャラリートーク

日時:3月7日(土)、4月4日(土)、5月9日(土)14:00-14:30

会場:企画展展示室(申込不要、当日有効の観覧券が必要)

●ワークショップ「抽象彫刻の魅力 澄川喜一の世界」

講師:澄川喜一

日時:2月23日(日・祝)14:00-16:00

会場:横浜美術館市民のアトリエ

定員:20名(事前申込、抽選/有料)

アクセス

みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい」駅
(3番出口)から徒歩3分。JR・横浜市営地下鉄
「桜木町」駅から(動く歩道)を利用、徒歩10分。

横浜美術館 | Yokohama Museum of Art

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

Tel. 045-221-0300 | Fax. 045-221-0317

<https://yokohama.art.museum>

